

R7の方向性

- 日常利用・観光利用の促進
- 駅整備等によるまちづくり施策との連携強化
- 生活利便性向上施策の促進
- マイレール意識の定着



【駅周辺整備事業】



【長谷駅利用促進事業】

R7の総括

- 輸送密度の向上
- 各沿線市町が実施する助成制度利用の定着
- 環境整備による駅周辺利便性の向上
- 団体・地元学生と一体になった利用促進施策の推進
- ガジロウを起用した広報等による沿線の一体感



【播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み】

令和7年度の主な取組結果

1 JR利用促進補助金（3制度）

日常利用の促進

【概要】

- 事業内容 ①**特急はまかぜ利用促進補助金**
②**JR播但線利用促進補助金**
③**遠距離通勤・通学等補助金**

実施主体 神河町（R7予算：10,700千円）

実施期間 令和7年度

実施結果 ①**277件(832千円)**②**2,938件(5,151千円)**
③**300件(4,170千円)**

【実施状況・課題】 HPや駅への申請書設置による周知により申請件数、新規利用者確保に取り組んだ。

【今後の展開】 次年度事業継続に向けて、効果検証を行う。

制度	対象者	補助割合等
特急はまかぜ利用促進補助金	特急はまかぜを寺前駅で乗降利用する個人、又は団体	個人 1/2 : 年12,000円限度 団体 1/2 : 年48,000円限度
JR播但線利用促進補助金	新野駅・寺前駅・長谷駅からJR播但線を往復利用する者	普通乗車券購入費用の1/2 (月3,000円限度)
遠距離通勤・通学等補助金	新野駅・寺前駅・長谷駅を基点としてJR播但線を含む鉄道路線で50km以上通勤・通学する定期購入者 寺前駅から和田山駅間を利用して通勤・通学する定期購入者	月5,000円 (月額費用が5,000円未満の場合はその額)

2 長谷駅利用促進事業

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 JR播但線長谷駅利用人数を増加させるため、長谷駅周辺でのイベント開催や、利用促進に繋がる取り組みを委託する。

実施主体 **長谷地区の振興を考える会**（R7予算：1,350千円）

実施期間 令和7年度

6月14日ホテル祭り、7月19日長谷駅前納涼祭り、11月23日紅葉ウォーキング
毎月13日長谷駅快速列車全停記念日乗車

実施結果 イベントでの播但線利用者：217名 記念日乗車：**246名**

【実施状況・課題】 各イベントごとに播但線利用者には、地区内で利用できる助成券を配布
紅葉ウォーキングでは播但線に乗り移動するため大幅な乗車人数を確保した。

【今後の展開】 新規のイベントを検討し更なる利用促進のため工夫をしていく。



令和7年度の主な取組結果

3 特急はまかぜで行く城崎温泉日帰りツアー [新]

日常利用の促進

【概要】

事業内容 JR播但線利用促進事業の一環として、神河町民限定で**特急はまかぜを利用して城崎温泉へのカニツアー**を行う。

実施主体 神河町 (R7予算: 1,046千円)

実施結果 110名参加 (R7実績: 920千円)

実施期間 令和8年1月31日(土)

【実施状況・課題】 定員120名募集 →当日110名参加

【今後の展開】 特急はまかぜを含めた更なるJR播但線利用促進事業を進めていく



4 公共交通に対する意識醸成

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 公共交通を維持・確保するためには、市民とともに公共交通対策に取り組むことが重要である。令和7年度も継続して「**公共交通はみんなで守っていくもの**」であるということを認識いただく必要があり、**マイレール意識の醸成に向けた意識啓発**に取り組んだ。

特徴 環境フェスタ出展、生野高校「ゆめいくプロジェクト」、公共交通ワークショップ

実施主体 朝来市

実施期間 環境フェスタ: 8月3日、「ゆめいくプロジェクト」: 通年(12月19日成果発表)
ワークショップ: 3月7日

実施結果 公共交通ブースの出展、生野駅東口待合室の設計協働、市民ワークショップ実施

【今後の展開】 各種イベントへの出展や、公共交通ワークショップ、「ゆめいくプロジェクト」協力等
市民の意識啓発を進めることができた。今後も継続的に実施する。



【環境フェスタ出展風景】



【ゆめいくPJ活動風景】 2

令和7年度の主な取組結果

5 公共交通の利用促進

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 各種助成制度の実施、公共交通情報誌の発行を行い、公共交通の利用促進に努める。

特徴 各種助成制度及び特急利用者パーク＆ライドを実施

実施主体 朝来市

実施期間 令和7年度

実施結果 助成制度利用者：749名・17団体（R8.3.31時点）
パーク＆ライド利用者：506名（R8.3.31時点）

【今後の展開】 助成制度の利用者は順調に推移しているが、制度によって利用者の差が激しい。パーク＆ライドの対象を他の特急利用者にも広げる等、継続利用に繋がるよう制度の改善や広報に注力する。



【特急利用者専用パーク＆ライド】



【公共交通情報誌 あさごナビ】

6 デマンド型乗合交通の活用

観光需要の増加

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 市内公共交通の利便性向上と鉄道や路線バスからの2次交通の充実を図るため、市内全域にデマンド型乗合交通を導入した。

特徴 コミュニティバス運行から予約に応じて運行するデマンド型乗合交通へ転換

実施主体 朝来市

実施期間 令和7年度（延べ利用者：42,991名）

実施結果 令和6年度4月から段階的に導入し令和7年度から市全域で運行開始。
生野エリアでは24%がJRへの乗継利用。2次交通としても定着しつつある。

【今後の展開】 引き続き2次交通の一つとして、鉄道との組み合わせも含めた利用促進に努める。



【運行車両】

令和7年度の主な取組結果

7 播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 昨年度に引き続き、**福崎町の「ガジロウ」を活用して広報活動を実施した**。本年度もJRに協力いただき、車内や駅構内での撮影を実施した。
併せて、10月を「**播但線利活用月間**」とし集中的な利用促進を図った。

特徴 「ガジロウ」を活用した特色のある広報活動の実施

実施主体 播但線鉄道整備・利用促進協議会

実施期間 10月

実施結果 SNSを中心に広報展開し大きな反響があった。また、利活用月間においては、沿線市町でのイベントを中心とした取組を実施した。

【今後の展開】 引き続き広報活動及び「播但線利活用月間」を実施し、幅広い層への浸透を図る。



【令和7年度の様子】

8 駅周辺整備事業

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 駅利用者の利便性向上を図るため、**和田山駅南ロータリーの改修整備、梁瀬駅前自転車等駐車場の新設等**、環境整備を行う。

実施主体 朝来市

実施期間 通年

実施結果 和田山駅南ロータリーは令和7年11月、梁瀬駅前自転車等駐車場は令和7年12月にそれぞれ供用を開始した。

【今後の展開】 引き続き駅利用者の利便性向上を図るため、必要な環境整備に努める。



【和田山駅南ロータリー】



【梁瀬駅前自転車等駐車場】

令和7年度の主な取組結果

9 JRローカル線駅周辺活性化モデル事業

観光需要の増加

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 駅周辺活性化の取組を行う事業者、地域団体等に対する事業費の補助

特徴 JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、**駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援**することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。

実施主体 兵庫県（市町協調）（R7予算：200千円×2）

実施期間 令和7年度

実施結果 一般社団法人寺前駅前銀座商店会「JR寺前駅利用促進イベント事業」、
生野高等学校「高校生によるJR生野駅ブランディング事業」を採択
寺前駅前銀座商店会：8月30日に寺前駅前納涼まつり、10月5日に寺前銀座おもてなし祭を開催
生野高校：駅待合スペースに設置するベンチの制作及びノベルティグッズを作成

【実施状況・課題】 モデル事業開始より3年が経過し、活動団体が一定、地域に根差したと考えられる。

【今後の展開】 次年度は実施せず、全県的なPR活動に努める。



【寺前駅前納涼まつりチラシ】

10 播但線駅カードの作成【拡充】

観光需要の増加

日常利用の促進

【概要】

事業内容 播但線沿線市町と連携し**駅カード及びカードフォルダを作成・配布**
することで駅カード獲得をきっかけとした播但線のさらなる利用者増
と沿線地域への誘客を図る

実施主体 兵庫県（中播磨県民センター）

実施結果 令和7年度は生野駅から和田山駅までを追加したコンプリート版を
作成し、令和8年3月25日から各観光協会等にて配布

【今後の展開】 今後も各観光協会での状況を調査し、状況にあわせて増刷を検討する
など、引き続き利用者増に繋がる当事業を進めていく



【今年度の駅カード及びカードフォルダ】

令和7年度の主な取組結果

11 WESTERへの情報集約

観光需要の増加

【概要】

事業内容 各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信した。

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 通年

実施結果 朝来市：スポット15件、イベント15件
神河町：スポット8件、イベント4件

【実施状況・課題】 イベント情報を掲載



12 かに力二はまかぜ・はなあかりの運行

観光需要の増加

【概要】

事業内容 臨時特急「かに力二はまかぜ」に「地域の華を列車に集め、お客様と地域の縁を結ぶ列車」をコンセプトにした観光列車「はなあかり」を増結した。

特徴 車内で兵庫県内の工芸品・アート作品を展示

実施主体 JR西日本

実施期間 1月5日～3月8日の月・金・土・日曜日

【実施状況・課題】 新聞やテレビで紹介。

【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信。



【昨年度の様子】

令和7年度の主な取組結果

13 利用促進リーフレットの作成 [新]

観光需要の増加

【概 要】

事業内容 普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に播但線(寺前～和田山)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成した。

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 6月～3月

【今後の展開】

年度末に公共施設等に配架。



14 ご利用実態調査 [新]

観光需要の増加

【概 要】

事業内容 乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施した。併せて、ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施した。

実施主体 JR西日本

実施期間 10月9日(木)、10日(金)、11日(土)、12日(日)

実施結果 アンケート獲得数=1085人、獲得率=30.1%

・平均乗車人数/日(平日923.5人、休日879.5人)

・最大乗車人数/1列車(平日111人、休日82人)

※特急列車除く。

【実施状況・課題】

鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要である。

【今後の展開】

昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、播但線(寺前～和田山)の現状分析に活用。



令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR利用促進補助金（3制度）	①特急はまかぜ利用促進補助金②JR播但線利用促進補助金③遠距離通勤・通学等補助金	10,700千円	神河町	●		
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 ①277件(832千円)②2,938件(5,151千円) ③300件(4,170千円) 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 HPや駅への申請書設置による周知により申請件数、新規利用者確保に取り組んだ。 【今後の展開】 次年度事業継続に向けて、効果検証を行う。					
長谷駅利用促進事業	「長谷地区の振興を考える会」に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,350千円	神河町	●		●
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 イベントでの播但線利用者：217名 記念日乗車：246名 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 各イベントごとに播但線利用者には、地区内で利用できる助成券を配布。紅葉ウォーキングでは播但線を利用して移動するため大幅な乗車人数を確保した。 【今後の展開】 新規のイベントを検討し更なる利用促進のため工夫をしていく。					
【新】特急はまかぜで行く城崎温泉日帰りツアー	JR播但線利用促進事業の一環として、神河町民限定で特急はまかぜを利用して城崎温泉へのカニツアーを行う。	1,046千円	神河町	●		
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 当日110名参加(920千円) 令和8年1月31日（土）実施 【今後の展開】 特急はまかぜを含めた更なるJR播但線利用促進事業を進めていく					

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
公共交通に対する意識醸成	「公共交通はみんなで守っていくもの」であるというマイルール意識の醸成に向けた意識啓発に取り組む。市内イベントへの公共交通ブース出展、地元学生が取組支援等を実施	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 【実施状況・課題】 環境フェスタ出展: 8月3日, ゆめいくプロジェクト協力: 通年 公共交通ワークショップ: 3月7日 【今後の展開】 市内イベントへの公共交通ブース出展、学生主体の活動である「ゆめいくプロジェクト」への協力、市民ワークショップの開催等、市民の意識啓発を進めることができた。今後も継続的に実施。			●		●
公共交通の利用促進	各種助成制度の創設、駅の待合環境整備を通じて、公共交通の利用促進に努める。	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 助成制度利用者: 749名・17団体 (R8.3.31時点) パーク＆ライド利用者: 506名 (R8.3.31時点) 【今後の展開】 制度により利用状況に濃淡があるため、広報周知を進める。			●		●
特急はまかぜ利用促進補助金 特急利用者専用パーク＆ライド	特急はまかぜの利用者に対する補助金及び特急利用者専用パーク＆ライド駐車場の確保	1,000千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 個人739名・団体11団体・パーク＆ライド利用者506名 【今後の展開】 多くの利用があり実績も増加傾向である。パーク＆ライドの対象を他の特急利用者にも広げる等の改善も図りながら、継続して実施する。			●	●	
JR播但線団体利用促進補助金	播但線の普通列車を4人以上の団体で利用した場合に支給する補助金	108千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 6団体(130人) 【今後の展開】 継続して実施し、区長会等を通じて周知を図る。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
公共交通通勤利用助成金 （補助金・奨励金）	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者 又は企業等に対して支給する、補助金・奨励金	619千円	朝来市	●		
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 6 名（6 社） 【今後の展開】 件数は増えており、継続して実施し、企業への更なる周知を図る。					
駅周辺駐車場利用料金助成事業補助金	JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し、市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助（1 か月当たり、上限3,000円）	100千円	朝来市	●		
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 3 名 【今後の展開】 継続して実施し、更なる制度周知を図る。					
デマンド型乗合交通の活用	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2 次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市	●	●	●
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 令和 7 年 4 月 1 日からの和田山・山東エリアの試験運行開始により市内全域での運行完了。年間延べ42,991人が利用。 【今後の展開】 鉄道・バスへの乗り継ぎ利用の周知等、より効果的な運行を目指す。					

11

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信	—	朝来市			
	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 市公共交通情報誌「あさごナビ」の発行や、市HPを活用し、各種公共交通施策に関する情報発信を実施した。 【今後の展開】 引き続き情報発信を継続する。			●		●
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組など）	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 通年での公共交通通勤や、出張での公共交通利用の奨励等、利用促進の取組を実施した。 【今後の展開】 市民全体の活動となるように引き続き実施する。			●	●	●
播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み	福崎町の「ガジロウ」を活用した広報活動や特定期間を「播但線利用月間」として集中的な利用促進を図る	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 10月～ 【実施状況・課題】 神河町砥峰高原をロケ地に動画作成。SNSを中心に反響があり。 【今後の展開】 引き続き広報活動を実施し、幅広い層への浸透を図る。			●	●	●

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】JR生野駅東口待合室改修事業	JR生野駅東口待合室を中高生や地域住民の意見を取り入れながら改修し、鉄道利用者の利便性向上を図った。	500千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和7年4月～ 【実施状況・課題】 生野高校ゆめいくプロジェクトとの連携を核に、中学生や地域住民の意見を取り入れ設計内容や利用方法の検討を進めた。 【今後の展開】 令和8年度の改修に向けて、連携を継続。			●		●
【拡】駅周辺整備事業	駅利用者の利便性向上のため、和田山駅南ロータリー、梁瀬駅自転車等駐車場を整備。	13,000千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 駅南ロータリー（R7.11）、梁瀬駅自転車等駐車場（R7.12）を整備完了・供用開始。 【今後の展開】 引き続き駅周辺の環境整備を図る。			●		●
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次交通を充実	450千円	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会 等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月13日～11月30日 【実施状況・課題】 全体で1,092名の利用があり、多数の鉄道利用に繋がった。 【今後の展開】 令和7年度は但馬・鳥取空港と連携することで、大阪・関西万博来訪者や首都圏からの観光客等を地域に呼び込んだ。今後も、鉄道利用促進に繋がるよう、空港との連携を進める。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
1 日乗車券500円観光バス 「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保。ガイド無料や観光施設入館無料等、立ち寄り先での特別体験を企画。	15,180千円	但馬観光協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者：1,928名（昨年度比較372人減少） 【期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日 【実施状況・課題】 但馬外での周知が不足していると思われるため、SNS等を活用したPRが課題。 【今後の展開】 4月以降、「たじまわる」の乗車料金改定および運行ルートの見直しを行ったことから、内容の周知を徹底するとともに、観光客への情報発信を強化し、1便当たりの利用者数増加を図る。 また、9年度の運行に向け、ルート内容等は引き続き検討を行う予定であり、乗車料金改定後も「たじまわる」の利用者満足度を維持できるよう努める。				●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円×2	兵庫県 (市町協調)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 一般社団法人寺前駅前銀座商店会「JR寺前駅利用促進イベント事業」、生野高等学校「高校生によるJR生野駅ブランディング事業」を採択 【実施状況・課題】 モデル事業開始より3年が経過し、活動団体が一定、地域に根差したと考えられる。 【今後の展開】 次年度は実施せず、全県的なPR活動に努める。			●	●	●
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。	1,163千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月1日～1月31日 【実施状況・課題】 駅から離れているチェックポイントもあり、どう鉄道利用に結び付けるかが課題 【今後の展開】 チェックポイントに鉄道利用を加える等、鉄道利用促進と但馬への集客・周遊を促す手法を検討。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
但馬観光の将来を見据えた 地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ 関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観 光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の 運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が 実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費 の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2 次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和8年2月21日～3月22日 【実施状況・課題】 鉄道駅から観光地を繋ぐデマンドバスの実証運行を実施。 城崎温泉・但馬空港から出石へ移動でき、完全貸切予約制で最 大6名まで乗車可能。 上記期間中の乗車実績は合計5名。 課題としては、このようなデマンドバスが運行していることを もっと広く周知することだと考えられる。 【今後の展開】 実証運行の結果を基に、内容の磨きあげに向けた検討を行う。				●	
【拡】播但線駅カードの作成	昨年度に作成した駅カード及びカードフォルダ に、生野駅から和田山駅を追加したコンプリー ト版を作成・配布し播但線の利用促進に繋げる	700千円	兵庫県 (中播磨県民センター)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和8年3月25日から配布開始 【実施状況・課題】 和田山駅までのカードを増やすにあたり朝来市にも協力要請 【今後の展開】 継続して実施し、播但線への誘客を図る			●	●	
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光ス ポットやイベント情報を、JR西日本アプリ 「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 登録スポット数：23件、登録イベント数19件 【期間】 通年 【実施状況・課題】 イベント情報を掲載。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 「銀谷祭り」を西Navi 9月号に掲載 【今後の展開】 今後も地域から頂いたイベント情報を掲載				●	
【新】はなあかりの運行 (かに力二はまかぜ増結)	臨時特急「かに力二はまかぜ」に沿線地域の工芸品・アート作品を展示した観光列車「はなあかり」を増結	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 1月5日～3月8日の月・金・土・日曜日 【実施状況・課題】 新聞やテレビで紹介。 【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信。				●	
【新】利用促進リーフレットの作成	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に播但線(寺前～和田山)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 6月～3月 【今後の展開】 年度末に公共施設等に配架。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】ご利用実態調査	乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施。併せて、播但線ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 10月9日（木）、10日（金）、11日（土）、12日（日） 【実施状況・課題】 鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要 【今後の展開】 昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、播但線（寺前～和田山）の現状分析に活用。			●	●	
沿線行事のP R	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 多くのお客様の目に留まる駅等で掲出。 【今後の展開】 今後も可能な範囲で協力。				●	
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 5月17日、9月6日 【実施状況・課題】 大阪駅「暁の広場」にて、福崎町のゆるキャラ「ガジロウ」や朝来市の竹田城跡にちなんだ「甲冑武者」のパフォーマンスを披露。地域の魅力をアピールするために、朝来市のクイズや福崎町の特産品の販売を実施。				●	

R8の方向性

- 日常利用の定着と観光利用の拡大
- 駅整備等によるまちづくり施策との連携強化
- 播但線全線開通120周年 マイレール意識の定着
- 利用促進施策の効果検証



【公共交通情報誌 あさごナビ】



【播但線駅カード】



【但馬周遊観光バス「たじまわる」】



【生野高校ゆめいくプロジェクト】

令和 8 年度の取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
JR利用促進補助金(3 制度)	① 特 急 は ま か ぜ 利 用 促 進 補 助 金 ② J R 播 但 線 利 用促進補助金③遠距離通勤・通学等補助金	10,641千円	神河町	●		
長谷駅利用促進事業	「長谷地区の振興を考える会」に長谷駅の利用促進を図る ための事業実施を委託	1,250千円	神河町	●		●
公共交通に対する意識醸成	「公共交通はみんなで守っていくもの」であるというマイ レール意識の醸成に向けた意識啓発に取り組む。公共交通 ワークショップ、公共交通通勤ウィーク等を実施	178千円	朝来市	●	●	●
公共交通の利用促進	各種助成制度の実施、公共交通情報誌の発行を行い、公共 交通の利用促進に努める。	693千円	朝来市	●		●
特急はまかぜ利用促進補助金 特急利用者専用パーク＆ライド	特急はまかぜの利用者に対する補助金及び特急利用者専用 パーク＆ライド駐車場の確保	1,517千円	朝来市	●		
JR播但線団体利用促進補助金	播但線の普通列車を 4 人以上の団体で利用した場合に支給 する補助金の実施	107千円	朝来市		●	
公共交通通勤利用助成金 (補助金・奨励金)	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等 に対して支給する、補助金・奨励金の実施	420千円	朝来市	●		

令和 8 年度の取組検討項目（一覧）						
項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
駅周辺駐車場利用料金助成事業 補助金	JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し、市内駅周 辺 の 月 極 駐 車 場 を 利 用 す る 市 民 に 対する駐車場利用料金の補助の実施	100千円	朝来市	●		
デマンド型乗合交通の活用	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	118,467千円	朝来市	●	●	●
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	—	朝来市	●		●
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	—	朝来市	●	●	●
播但線鉄道整備・利用促進協議 会の取り組み	福崎町の「ガジロウ」を活用した広報活動や特定期間を「播但線利用月間」として集中的な利用促進を図る。	—	播但線鉄道整備・ 利用促進協議会	●	●	●
【拡】JR生野駅東口待合室改修 事業	JR生野駅東口待合室を中高生や地域住民の意見を取り入れながら改修し、鉄道利用者の利便性向上を図る。	19,225千円	朝来市	●		●
JR和田山駅周辺整備事業	JR和田山駅周辺において、南北自由通路並びに駅北側ロータリーの基本設計を実施し、和田山駅利用者の利便性向上に向けて調整を進める。	69,630千円	朝来市	●		●

令和8年度の取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実 【期間】8月～11月	750千円	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会 等		●	
【新】但馬地域公共交通フォーラム	令和7年度但馬地域公共交通勉強会で育成された人財が他分野共創・市町間連携を主導するにあたり、施策の検討材料となるような、有識者を招いた講演・パネルディスカッションの実施を検討中。		但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●	●	
【新】山陰本線・播但線フォトコンテスト	JR山陰本線・播但線沿線地域の魅力が伝わる写真を募集し、フォトコンテストを開催する。		但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●	●	
但馬周遊観光バス「たじまわる」の運行	○JR各駅等と観光地を結ぶガイド付き観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保 ○ガイド無料や観光施設入館割引など、立ち寄り先での特別体験を企画	12,904千円	但馬観光協議会		●	
【新】JRローカル線利用促進イベントにかかる効果検証アンケートの実施	令和7年度JRローカル線維持・利用促進協議会において、「利用促進事業の効果検証が必要」との意見が出たことをふまえ、利用促進イベント開催時における参加者へのアンケートを実施	—	各イベント主催団体	●	●	

令和 8 年度の取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】播但貫く、周遊型・謎解きスタンプラリー	中播磨・但馬地域でフィールドパビリオンや観光地を巡る謎解きスタンプラリーを実施。鉄道利用をスタンプ獲得条件にする等の利用促進の仕掛けを検討している。	5,434千円	兵庫県 （但馬県民局・中播磨県民センター）		●	
播但線駅カードの作成	駅カード及びカードフォルダを追加発行	500千円	兵庫県 （中播磨県民センター）	●	●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本		●	
かにカニはまかぜの運行(予定)	冬季に臨時特急「かにカニはまかぜ」を運行	—	JR西日本		●	
沿線行事の P R	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	